

鳥獣被害防止緊急捕獲活動支援事業の評価報告(令和5年度報告)

各事業実施地区における被害防止計画の達成状況

事業実施主体名 (協議会名)	対象地域	実施年度	対象鳥獣	事業内容	事業量	管理主体	供用開始 時期	利用 率・ 稼働率	事業効果	被害防止計画の目標と実績								事業実施主体の評価	第三者の意見	
										対象鳥獣	被害金額(千円)				被害面積(ha)					
											現状値	目標値	実績値	達成率	現状値	目標値	実績値			達成率
大津町有害鳥獣 対策協議会	大津町	R2	イノシシ	有害捕獲	はこ畝 9基	大津町有害 鳥獣対策協 議会			・ICT等新技術の活用により、 以前より効率良くはこ畝の運用 ができた。  ・大津町鳥獣被害対策実施 隊並びに大津町有害鳥獣捕 獲隊にはこ畝等の貸出しを行 い、鳥獣被害の減少を図れ た。	イノシシ	1,480	592	3,542	-232%	0.56	0.22	1.21	-191%	近年、大津町における 対象鳥獣の出没が 増加しているため、今 後は電気牧柵の正しい 設置の周知・普及 に取り組み、関係機 関との連携を引き続 き強化する必要がある。  熊本県県北広域本部 農業普及・振興課 主 幹 林田 稔	昨年度のイノシシ・シ カ生息状況調査では 推定生息数が増加傾 向にあるため、町単独 事業による侵入防止 対策に加え、国庫事 業を活用をした侵入 防止対策を検討して いく必要がある。
			カラス	有害捕獲	はこ畝(大型) 1基					カラス	-	-	0	-	0	-	0	-		
			ニホンジカ	ICT等新技術の活用	長距離無線式捕獲/パトロールシステム(親機1台、子機9台) 13					ニホンジカ	19	0	344	-1711%	0.05	0	0.11	-120%		
			ニホンザル	ICT等新技術の活用	はこ畝用捕獲センサー導入 9個					ニホンザル	390	156	254	58%	0.14	0.06	0.05	113%		
			アナグマ	緊急捕獲	イノシシ(成獣) 154頭					アナグマ	59	23.6	776	-2025%	0.02	0.01	0.15	-1300%		
			タヌキ	緊急捕獲	イノシシ(幼獣) 77頭					タヌキ	35	14	76	-195%	0.01	0.01	0.04	-		
			アライグマ	緊急捕獲	シカ(成獣) 56頭					アライグマ	-	-	0	-	0	-	0	-		
				緊急捕獲	カラス 30羽					合計	1,983	786	4,992	-251.3%	0.78	0.3	1.56	-163%		